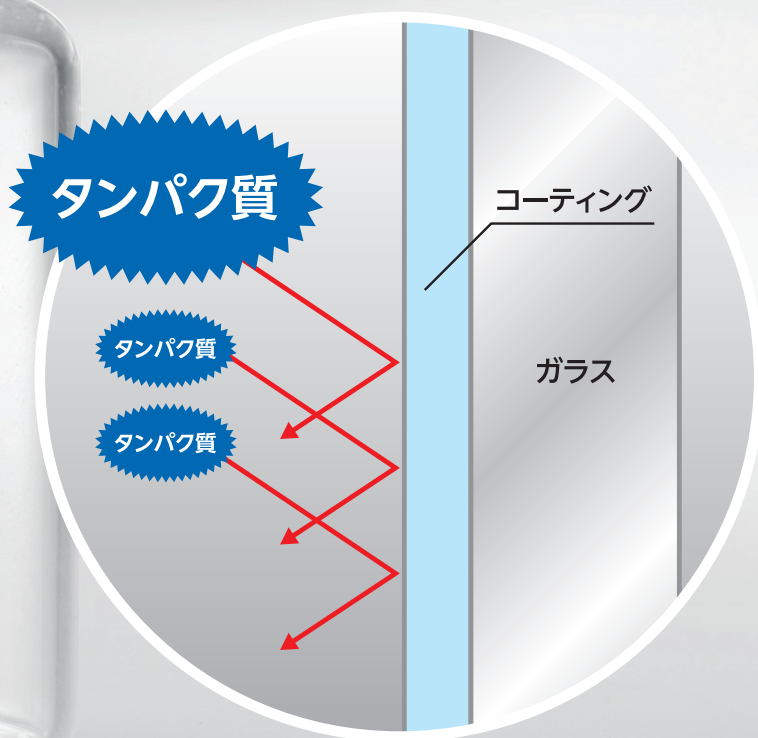


コーティングバイアル

タンパク質吸着による有効成分のロスを低減



- タンパク質の吸着を低減
- USP660 TypeI に適合
- 洗浄・滅菌済みでのご提供 (Ready-To Use品)

特長

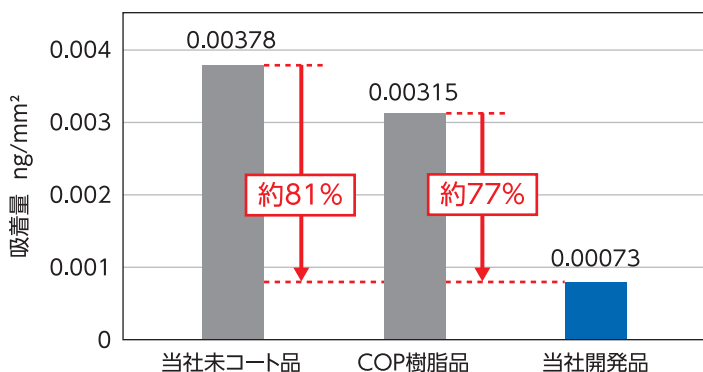
バイオ医薬品やワクチンは温度に対して敏感なため、気密性が高く低温保存にも適しているガラス製バイアルが幅広く用いられています。

しかしガラス表面はタンパク質が吸着しやすいという性質があります。この性質により、医薬品製造や調製・投与において、タンパク質吸着による有効成分のロスが発生するリスクがあります。

本品では、内面に特殊コーティングを施すことにより、そのリスクを7割以上低減しています。

タンパク質吸着量の比較

IgG吸着量



※アルブミン、フィブリノーゲンでも低吸着性の効果を確認

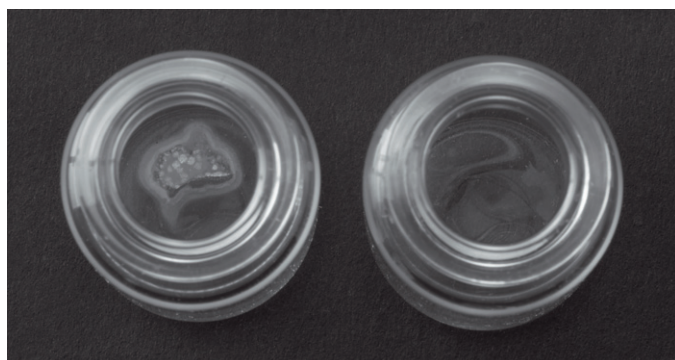
テスト条件

タンパク質：IgG
濃度：0.1 µg/mL
溶媒・pH：リン酸バッファー液、6.9～7.1
保管条件：室温×1時間
バイアルサイズ：ISO10R
測定方法：ELISA
試験回数：N=3

※タンパク質の種類、濃度、溶媒により性能が異なる場合があります。ご使用前に、ご使用される条件での評価・確認をお願いします。

未コート品、COP樹脂バイアルと比べ、吸着量を7割以上低減

バイアル外観



当社 未コート品

当社 開発品

バイアルにフィブリノーゲンを充填



未コート品 (写真左)

タンパク質が吸着することで
内面が白く濁る

コーティングバイアル (写真右)

透明な外観を維持



〈問い合わせ先〉

ニプロ株式会社 ファーマパッケージング事業部

[本 社] 〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町3-26 TEL:06-6310-6571

[東京営業部] 〒113-0033 東京都文京区本郷4-3-4 TEL:03-5684-5611

[HP] <https://www.nipro-pharmapackaging.jp/>

